

- 九戸村では、林業経営体が少なく、手入れの行き届いていない森林の増加が課題となっている。
- このため、村民自らが除間伐等の整備を推進する取組を実施。

□ 事業内容

九戸村環境保全型森林整備事業

- ・ 経営管理制度意向調査における村への委託希望林について、林業事業体とマッチングを支援し、必要な森林整備に対し補助することで、放置林を解消するもの。
- ・ 自伐林家が施業する自己所有林の整備に対しても、皆伐を制限する協定を締結のうえ、補助金を交付することで、美しい森林づくりを推進。

【事業費】 1,557千円（全額譲与税）

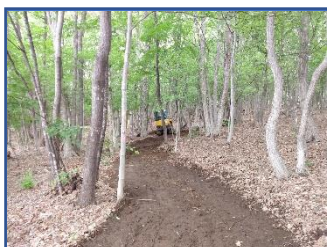
【実績】 スギ人工林2割間伐：1.14ha
伐跡天然林除伐：1.59ha
作業道整備：600m

□ 取組の背景

- ・ 林業経営体の減少や高齢化等により放置された森林が増加
- ・ 若年層の林業への興味関心が薄れ、林業経営体・担い手が減少



（間伐作業）



（作業道整備）



（伐木研修）

□ 工夫・留意した点

- ・ 間伐材を買い取る「木の駅」の取組と組み合わせて制度化
- ・ 地域おこし協力隊や自伐林家と協議のうえニーズ把握
- ・ 安全講習会を継続的に実施

□ 取組の効果

- ・ 経営管理の推進
- ・ 自伐林家の育成
- ・ 地域おこし協力隊の定住

◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：22,482千円		②私有林人工林面積（※1）：2,712ha	
③林野率（※1）：74.9%	④人口（※2）：5,378人	⑤林業就業者数（※2）：53人	

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より